

『アロマテラピー検定公式テキスト (2015年7月改訂版)』について

ver.1 2015/07/30

ver.2 2015/11/11

ver.3 2016/10/10

今回の改訂では、情報の更新や再検証と共に、2級は「アロマテラピーを楽しむ」、1級は「アロマテラピーを知る」をコンセプトとし、内容の整理や構成の見直しをしました。また、写真やイラストを増やし、アロマテラピーを初めて学ぶ方にとって、わかりやすく楽しみながら学べるように構成しています。

アロマテラピー検定試験は AEAJ が発行する『アロマテラピー検定公式テキスト』の内容に準拠して出題されます。『2015年7月改訂版』の改訂点につきましては、以下の通りまとめましたのでご確認ください。

■試験対応

第35回アロマテラピー検定試験(2016年11月6日)試験以降は、『2015年7月改訂版(以下、新版)』から出題されます。

■試験対応テキストについて

新版の1級テキストでは、1級試験出題範囲の全ての内容を掲載しています(環境、歴史の章を追加。試験対象精油を全て掲載)。

■掲載情報量の変更

各級の学習レベルに応じ、掲載情報量の見直しを実施しました。

■追加

- 受験者がより学習しやすいよう、復習用の「ワークブック」、「索引」を追加しました。
- アロマテラピーの基礎知識を学習する上で重要となるキーワードを太字としました。
- コラムに、1級ではアロマテラピーの学術研究や代表的な和精油の情報を、2級ではハーブの育て方や初心者向けのハーブクラフトを掲載しました。

■改訂ポイント

更新版(ver.3)を掲載しました。追加事項は改訂ポイント P.1 をご覧ください。(2016/10/10)

■章構成の変更

章構成の見直しを行い、以下の通りに変更いたしました。

『アロマテラピー検定』章構成 新旧対照表

表の見方:

旧版の掲載内容が、新版のどこの章に移動したかを示した表です。例えば、旧版2級「第1章-香りに親しむ」に掲載されていた情報は、新版1級・2級「第1章-アロマテラピーについて」に引き継がれています。

旧版(2011年6月改訂版)		新版(2015年7月改訂版)			
2級		2級		1級	
1章	香りに親しむ	1章	アロマテラピーについて	1章	アロマテラピーについて
2章	アロマテラピーのある暮らし	4章	安全な精油の使い方	5章	安全な精油の使い方
		5章	アロマテラピー利用法	6章	アロマテラピー利用法
3章	精油のプロフィール(10種)	3章	精油のプロフィール	4章	精油のプロフィール
4章	精油の基礎知識	2章	精油の基礎知識	3章	精油の基礎知識
				2章	アロマテラピーのメカニズム
5章	アロマテラピーの歴史	6章	アロマテラピーの歴史	8章	アロマテラピーの歴史
6章	アロマテラピーと環境	7章	アロマテラピーと地球環境	9章	アロマテラピーと地球環境
7章	かおり風景100選とハーブ園ガイド		コラム(ハーブについてのみ)	-	-

旧版(2011年6月改訂版)		新版(2015年7月改訂版)			
1級		2級		1級	
1章	アロマテラピーの楽しみ方	4章	安全な精油の使い方	5章	安全な精油の使い方
		5章	アロマテラピー利用法	6章	アロマテラピー利用法
2章	精油のプロフィール(21種)	-	-	4章	精油のプロフィール(計30種)
3章	アロマテラピーでホームケア	-	-	7章	アロマテラピーと健康(コラム)
4章	アロマテラピーのメカニズムと健康学	-	-	2章	アロマテラピーのメカニズム
				7章	アロマテラピーと健康
5章	アロマテラピーに関する法律	-	-	10章	アロマテラピーに関する法律
6章	アロマテラピーの資格制度	巻末	資料編	巻末	資料編
7章	アロマテラピーの活動分野	巻末	資料編	巻末	資料編
8章	アロマテラピートリートメントを体験しよう	-	-	巻末	資料編

『アロマテラピー検定公式テキスト(2015年7月改訂版)』改訂ポイント <ver.3>

<ver.3>での追記事項: 1級 … 8章6

級	章	章タイトル	No.	該当箇所 見出し 等	内 容
1級	1章	アロマテラピーについて	1	全体	1級・2級共通の内容とした。
			2	全体	旧版では分散して掲載されていた「アロマテラピーの定義」「精油の定義」「アロマテラピーの活動分野」を集約。
			3	精油の定義	「精油の定義」を変更 ※「果実」「心材」を追加 旧版: 精油(エッセンシャルオイル)は、植物の花、葉、果皮、樹皮、根、種子、樹脂などから抽出した天然の素材です。有効成分を高濃度に含有した揮発性の芳香物質です。精油は、各植物によって特有の香りと機能を持ち、アロマテラピーの基本となるものです。 新版: 精油(エッセンシャルオイル)は、植物の花、葉、果皮、果実、心材、根、種子、樹皮、樹脂などから抽出した天然の素材で、有効成分を高濃度に含有した揮発性の芳香物質である。各植物によって特有の香りを機能を持ち、アロマテラピーの基本となるものである。
			4	正しい精油の選び方	項目として追加。
			5	香りのイメージレッスン	文章および構成を変更。記入シートを追加。
	2章	アロマテラピーのメカニズム	1	全体	旧版1級4章「アロマテラピーのメカニズムと健康学」より、メカニズムの内容部分を掲載。
			2	全体	検定の学習内容に合わせ、内容、情報量を整理。
			3	嗅覚器から脳へ伝わる経路	脳のしくみについての説明を簡潔化。脳幹、小脳、大脳の説明を削除。
			4	嗅覚器から脳へ伝わる経路	香りが嗅覚器から脳へ伝わるしくみの説明を見直し、修正、加筆。
	3章	精油の基礎知識	1	全体	1級・2級共通の内容とした(コラム・製造法の一部を除く)。
			2	全体	情報の整理、構成を変更。
			3	全体	図や画像を増加。
			4	精油の定義	「精油の定義」変更(当資料「1章-3 精油の定義」参照)
			5	精油の製造法	油脂吸着法と超臨界流体抽出法をコラムに移動。
			6	植物にとっての芳香物質の役割	「誘引作用」の説明文において「鳥を誘引する」旨の記述を削除。 (近年、鳥にも嗅覚受容体の遺伝子が存在することはわかっているが、植物による鳥の誘因ににおいが関わっているというデータの確認が取れなかったため)
	4章	精油のプロフィール	1	全体	2級の対象精油(10種)のページ内容は、1級と共通。
			2	全体	1級の出題範囲全ての種類を掲載(旧版2級掲載の10種を追加掲載)。
			3	全体	参考図書、市場等の情報を基に一部修正、下段エピソードの情報を一新。
			4	ページの見方	ページの見方の説明を追加。
			5	和名、種類	和名、種類を上段表組内から削除し、特徴的なものだけ下段エピソード欄へ掲載。
			6	学名	学名の一部を、異名(synonym/シノニム)としての表記に変更。 異名とは、同一植物における別名表記の学名のこと。※「この章の見方」ページ(1級p.41)参照。 これまでのテキストでは、異名が併記されており、受験者の方がこれらを別々の植物と捉える可能性があったため、今回より異名の表記に変更。
			7	サンダルウッド	サンダルウッド・インドとサンダルウッド・オーストラリアを1頁に集約。
			8	ゼラニウム	ゼラニウムの成分ゲラニオールに表記のあった「特徴成分」の表記を削除。 複数の文献を調査し、香料の専門家の指導を受け、改めて記載内容を整理。 その結果、ゼラニウムにおいての「ゲラニオール」は、精油の香りや性質を特徴づけている「特徴成分」と表記するほどのものではないとされ、表記を外している。
			9	フランキンセンス	フランキンセンスの学名を修正。 旧版: Boswellia carterii 新版: Boswellia carteri
			10	ローズマリー	ローズマリーの抽出部位に「花」を追加。 旧版: 葉 新版: 葉と花
5章	安全な精油の使い方	1	全体	1級・2級共通の内容とした。	
		2	全体	旧版では分散して掲載されていた注意事項を集約。	
		3	注意すべき精油	皮膚刺激の説明を追加し、皮膚刺激に注意が必要な精油の種類に以下を追加(IFRA*資料に基づく) イランイラン、ジャスミン、メリッサ * IFRA…International Fragrance Association(国際化粧品香料協会)	
		4	精油の使用量に関するガイドライン	項目を追加。	

級	章	章タイトル	No.	該当箇所 見出し 等	内 容
1級	6章	アロマテラピー 利用法	1	全体	1級・2級共通の内容とした(画像を除く)。
			2	全体	旧版1級テキストからの追加項目： 用具説明、芳香浴用、沐浴法、吸入法。 ※項目は、アロマテラピーインストラクター・アロマセラピストのカリキュラム「アロマテラピー利用法」指定の14項目に揃えた。
			3	アロマテラピーを利用する際の注意	これまで各章に情報が分散していた実践にあたっての注意事項を集約。
			4	基材について	基材の種類を変更。(アロマセラピスト実技カリキュラムで使用の基材の種類に合わせ、植物性スクワランを削除)
			5	基材についてーホホバ油	科名を表記変更。 旧版：ツゲ科 新版：ホホバ科(シムモンドシア科) エングラ体系では「ツゲ科」、クロンキスト体系、APG分類体系ではともに「シムモンドシア科(ホホバ科)」。現在、エングラ体系は古いという見方がされている事、クロンキスト体系が採用されている場合が多い事、以上の点から、今回より「シムモンドシア科(ホホバ科)」と表記を変更
			6	芳香浴法-ルームスプレー	精油の使用滴数を変更。 旧版：基材50mlに対し3～5滴 新版：基材50mlに対し3～20滴
			7	トリートメント法	ハンドトリートメントの紹介を、セルフではないトリートメント → セルフトリートメントの内容に変更。フットトリートメントの紹介を追加。
			8	手作り化粧品-スキンローション	作り方手順を変更。さっぱりタイプのレシピを追加。
			9	手作り化粧品-入浴剤	ハチミツを用いたレシピを追加。重曹を用いたものは簡単なやり方の内容に変更。
			10	手作り化粧品-ミツロウクリーム	材料および作り方手順を変更(使用感の違う材料を2種類紹介)、手順をより詳細に記述。
			11	手作り化粧品-クレイパック	材料と作り方の手順を変更。 ※今回この章では、材料および手順をレシピ検証(実験)を実施して記載している。クレイパックにおいては、ダマになりにくくよりなめらかに仕上げやすい、上から水分が浸透する様子を確認しやすい、という理由から手順を変更した。
	7章	アロマテラピーと 健康	1	全体	検定の学習内容に合わせ、内容、情報量を整理するとともに以下の説明を追加。 「食事の役割など食生活全般について」「積極的休養と消極的休養について」
			2	全体	各データの更新。
			3	ライフステージと健康	個人に合わせた健康を考えるために必要な知識としてライフステージの用語と説明を追加
			4	コラム	旧版「ホームケア(1級3章)」の内容を整理・再構成し、各関連項目の後に「コラムページ」として掲載。
	8章	アロマテラピーの 歴史	1	全体	流れをわかりやすくする為、全体的に再構成。
			2	全体	以下の項目はコラムに移動。(諸説あり史実が明確でないがアロマテラピーにとって重要なもの、または検定1級の学習内容に合わせ整理したもの、など) …「聖書と香り」「錬金術と蒸留技術」「ハンガリアン・ウォーター」「4人の盗賊のピネガー」「アロマテラピーの学術的研究」
			3	全体	以下の内容を削除。 …ネアンデルタール人「ソロモン王とシバの女王の逸話、アレキサンダー大王の東方遠征とヘレニズム文化、クレオパトラと香料、皇帝ネロ、アロマテラピーの定義。
			4	全体	画像の追加。
			5	全体	以下の用語および説明を追加。 …ユナニ医学、ヒルデガルト、におい分野におけるノーベル賞、香道、日本における香料産業のはじまり
			6	近世～近代	表記の訂正 旧版：ニコラス・カルペパー(Nicoras culpeper) 新版(1～6刷)：ニコラス・カルベツパー(Nicholas culpeper) 新版(7刷)：ニコラス・カルペパー(Nicholas culpeper)
			7	近世～近代	表記の訂正 旧版：ジョン・ジェラード(John Gerade) 新版：ジョン・ジェラード(John Gerard)
			8	近世～近代	表記の変更(ジョン・ジェラードの著書名) 旧版：『本草または一般の植物誌(The Herball or Generall Historie of Plantes)』 新版：『The Herball(本草書)』
			9	近世～近代	表記の変更 旧版：オーアドミラブル 新版：アクアミラビリス ※「当時イタリアで売り出し～」という記述に合わせ、表記をイタリア語読みに変更。
	9章	アロマテラピーと 地球環境	1	全体	「精油」「植物」「地球環境」の関わり観点から、全体を再構成。
			2	全体	各データの更新。
	10章	アロマテラピーに 関係する法律	1	アロマテラピーに関する法律	情報の整理および構成の変更。
			2	アロマテラピーに関する法律	用語表記の変更 旧版：薬事法 新版：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律

級	章	章タイトル	No.	該当箇所 見出し 等	内 容
1級	-	資料編	1	全体	1級・2級共通の内容とした(「アロマセラピートリートメントを体験しよう」を除く)。
			2	全体	検定試験概要や資格制度など、AEAJに関連した情報を集約・充実化。
			3	アロマトリートメントを体験しよう	旧版1級第8章「アロマセラピートリートメントを体験しよう」を新版では資料編に移動。ビジュアルを用いて簡潔に紹介。
2級	1章	アロマセラピーについて	1	全体	1級・2級共通の内容とした。
			2	全体	旧版では分散して掲載されていた「アロマセラピーの定義」「精油の定義」「アロマセラピーの活動分野」を集約。
			3	精油の定義	「精油の定義」を変更 ※「果実」「心材」を追加 旧版: 精油(エッセンシャルオイル)は、植物の花、葉、果皮、樹皮、根、種子、樹脂などから抽出した天然の素材です。有効成分を高濃度に含有した揮発性の芳香物質です。精油は、各植物によって特有の香り機能を持ち、アロマセラピーの基本となるものです。 新版: 精油(エッセンシャルオイル)は、植物の花、葉、果実、心材、根、種子、樹皮、樹脂などから抽出した天然の素材で、有効成分を高濃度に含有した揮発性の芳香物質である。各植物によって特有の香りを機能を持ち、アロマセラピーの基本となるものである。
			4	正しい精油の選び方	項目として追加
			5	香りのイメージレッスン	文章および構成を変更。記入シートを追加。
	2章	精油の基礎知識	1	全体	1級・2級共通の内容とした(コラム・製造法の一部を除く)。
			2	全体	情報の整理、構成を変更。
			3	全体	図や画像を追加。
			4	精油の定義	「精油の定義」を変更(当資料「1章-3 精油の定義」参照)
			5	精油の製造法	油脂吸着法、揮発性有機溶剤抽出法、超臨界流体抽出法をコラムに移動。
			6	植物にとっての芳香物質の役割	「誘引作用」の説明文において「鳥を誘引する」旨の記述を削除。 (近年、鳥にも嗅覚受容体の遺伝子が存在することはわかっているが、植物による鳥の誘因に関わっているというデータの確認が取れなかったため)
	4章	精油のプロフィール	1	全体	10種の紹介ページ内容は1級と共通。
			2	全体	参考図書、市場等の情報を基に一部修正、下段エピソードの情報を一新。
			3	ページの見方	ページの見方の説明を追加。
			4	和名、種類	和名、種類を上段表組内から削除し、特徴的なものだけ下段エピソード欄へ掲載。
			5	学名	学名の一部を、異名(synonym/シノニム)としての表記に変更。 異名とは、同一植物における別名表記の学名のこと。※「この章の見方」ページ(2級p.33)参照。 これまでのテキストでは、異名が併記されており、受験者の方がこれらを別々の植物と捉える可能性があったため、今回より異名の表記に変更。
			6	ゼラニウム	ゼラニウムの成分ゲラニオールに表記のあった「特徴成分」の表記を削除。 複数の文献を調査し、香料の専門家の指導を受け、改めて記載内容を整理。 その結果、ゼラニウムにおける「ゲラニオール」は、精油の香りや性質を特徴づけている「特徴成分」と表記するほどのものではないとされ、表記を外している。
			7	ローズマリー	ローズマリーの抽出部位に「花」を追加。 旧版: 葉 新版: 葉と花
	5章	安全な精油の使い方	1	全体	1級・2級共通の内容とした。
			2	全体	旧版では分散して掲載されていた「注意事項」を同じ章内に集約。
3			注意すべき精油	皮膚刺激の説明を追加し、皮膚刺激に注意が必要な精油の種類に以下を追加(IFRA*資料に基づく) イランイラン、ジャスミン、メリッサ * IFRA…International Fragrance Association(国際化粧品香料協会)	
4			精油の使用量に関するガイドライン	項目を追加。	

級	章	章タイトル	No.	該当箇所 見出し 等	内 容
2 級	5 章	アロマセラピー 利用法	1	全体	1級・2級共通の内容とした(画像を除く)。
			2	全体	旧版2級テキストからの追加項目： 基材説明、用具説明、フェイシャルスチーム、湿布法、トリートメント法、手作り化粧品。 ※項目は、アロマセラピーインストラクター・アロマセラピストのカリキュラム「アロマセラピー利用法」指定の14項目に揃えた。
			3	全体	入門者向けのテキストとして、「手順」の詳細な画像を掲載。
			4	アロマセラピーを利用する際の注意	実践にあたっての注意事項を集約。
	6 章	アロマセラピーの 歴史	1	全体	1級の同一項目のページは1級と共通内容とした。
			2	全体	検定2級の学習内容に合わせ、内容、情報量を整理。「現代」以降の情報のみを掲載。
			3	コラム	以下の項目はコラムに移動。(諸説あり史実が明確でないがアロマセラピーにとって重要なもの、または検定2級の学習内容に合わせ整理したもの、など) …「聖書に登場した乳香と没薬」「王妃の美を支えたローズマリー」「元祖オーデ・コロンの原料ベルガモット」「アロマセラピーの学術的研究」
			4	アロマセラピーの登場と普及	以下の用語および説明を追加。 「におい分野におけるノーベル賞」
	9 章	アロマセラピーと 地球環境	1	全体	「精油」「植物」「地球環境」の関わり観点から、再構成。
			2	全体	各データの更新。
	-	資料編	1	全体	2級・1級共通の内容とした(「精油のブレンドレシピ」を除く)。
			2	全体	検定試験概要や資格制度など、AEAJに関連した情報を集約・充実化。
			3	精油のブレンドレシピ	初心者向けの基礎知識として「精油のブレンドレシピ」を追加。

以上